

私達の長穂

山門号

編集発行

住みよい長穂を
つくる協議会
長穂公民館

No.

210

H 一五八一

龍文寺の山門

再興へ

龍文寺の山門の解体が七月十日から始まりました。山門は一六六二年の建立とされ、今年で三百四十一年。明治時代に本堂や庫裏が焼失したため、龍文寺でただ一つ昔の面影を残していました。子供の頃に山門に上り住職に怒られて、蜘蛛の子を散らすように逃げたことがいまさらながら懐かしく思えます。長穂地区最古の建造物として、親しまれ、地区自慢の山門も老朽化が進み大型台風で二層部分が損傷し、松皮葺きだった屋根も、一層部分をトタンで覆う姿となって四十年、修理維持も困難となってしまいました。

現中村俊孝住職は、今までに、十六羅漢の修復や山門から本堂に続く石畳を敷き、石組を広げて境内の基盤整備を終わり、山門の復興は最後の事業と数年前から木材を少しずつ集めて、長穂と同じ空気で乾燥させるなど準備をしてこられました。先代の方丈の大願であった山門復興を現任に託されたご遺志を固く受けとめて、宮大工の技術を持つ須々万の広本さんに見積ってもらい、総事業費一億五千万円で再興することを決意されました。山門は取り壊して、新たに二層の山門を建立する計画です。檀家からの献金は六千万円になる見込みで、残りはすべてが寺側の負担になります。用材の切り込みも終わりに近づき、今年、山門の解体、基礎工事の実施と続いて、完成は、平成十八年十月予定。中村住職は、山門の再興は脈々と続く寺の流れの一つで、これから有縁無縁の方々にもお力をいただき、次の方に引き継ぎたいと願っておられます。

私達の長穂編集長 藤本 富夫

とろろ

青い

消防団操法競技大会の小型ポンプ競技に出場のための練習が、始まっています。

競技日 八月三十一日(日)

選手名 (敬称略)

秋延行 助地

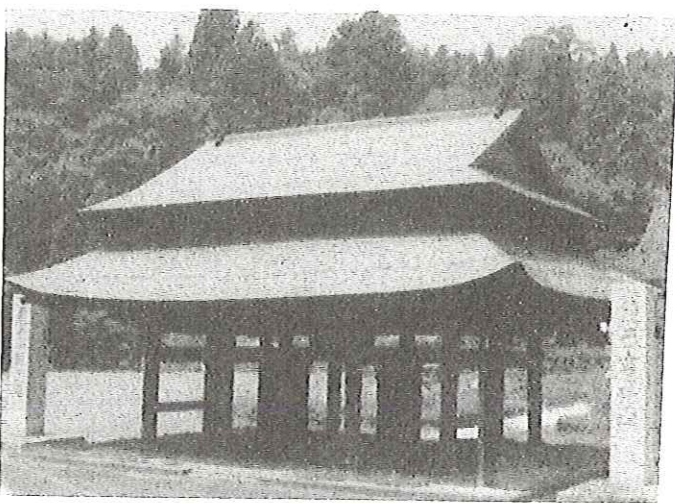
安井博一 合下

深町修明 沢下

魚谷宏幸 市

佐古博敏 手

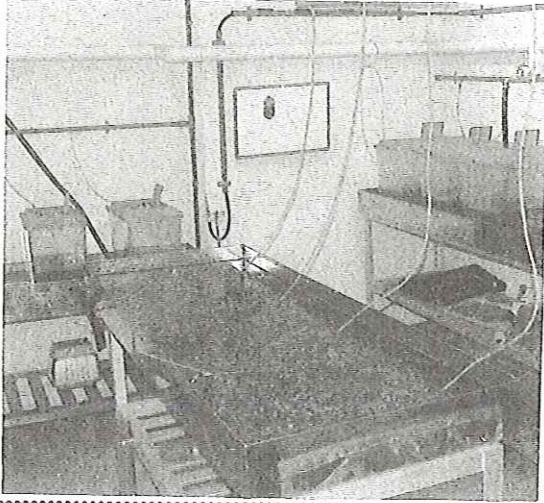
解体前の山門



解体作業



ホタルの飼育場



◇がんばります！



盆おどり

全国高校総体長崎大会

深町友男 助地

(敬称略)
インターハイ弓道の部
長崎大会八月一日〜七日

廣林徹夫 別分 インターハイ(ソフト)
岡村 翔 西山 テニス)長崎大会

お知らせ

運動会の「標語」大募集

地区運動会のプログラムの表紙を飾る標語を募集します。

作品は公民館まで

〆切り 八月十一日 (月)

採用作品には薄謝進呈

◇ 慶弔近報 ◇

出生 おめでとうございます (敬称略)
寺尾 文皓 15年6月28日 (男) 助地下

◇ 八月行事予定 ◇

中2土 徳山支部中学校陸上選手権大会

中5火 周南地区ソフトテニス大会

公5火 健康相談 13時〜分ち 公民館

小6水 登校日

中9土 徳山パレール大会

公14木 盆踊り大会 19時30分ち 小学校

小18月 少年消防クラブ夏季研修会

中19火 登校日、そば種まき

小24日 親子環境整備作業

公25月 胃がん検診 (セ八時) 公民館

中30土 PTA生徒奉仕活動(セ八時)

記 近年にない長期な大雨は各地に被害をもたらし、長穂地区には大きな土砂災害はなく幸いする。飼育場のホタルが生まれ始めた。 編集子